

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名		結核定期健康診断・予防啓発事業		A 一般事務事業	
担当部署名		健康福祉 局 健康部 保健所 部 感染症対策 課		シート番号	
		評価責任者(課長名)		11-233	
				中井	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	結核は、かつて国民病と言われるほど患者数も多く、また不治の病と恐れられていた。治療薬の普及、栄養・衛生状態の改善などにより患者数は激減したが、未だに国内で毎年約17,000人の結核患者が新たに発生し、毎年約2,300人の人が結核で亡くなっている。住民に対する定期健康診断は、昭和26年から施行された法律に基づき市町村が実施しなければならない事業となっている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	主に結核の罹患率が高い65歳以上の市民を対象に、レントゲン検査を実施することにより、結核の早期発見、早期治療につなげ、結核のまん延を予防する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・肺がん・結核検診の実施 全校区において、胸部エックス線検診車の巡回検診を実施(平成30年度:111回) ・結核予防週間等における予防啓発事業 ①街頭啓発キャンペーンの実施(平成30年度:9月24日～9月30日) ②啓発リーフレットの作成及び配布 ③市役所・保健センターで結核についての展示 ・学校や老人ホーム等の集団で生活する施設に対する結核対策費補助金の交付を行い、患者を早期発見する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託:一般財団法人 大阪府結核予防会ほか 補助金:羽衣国際大学ほか					

Ⅲ. 投入量

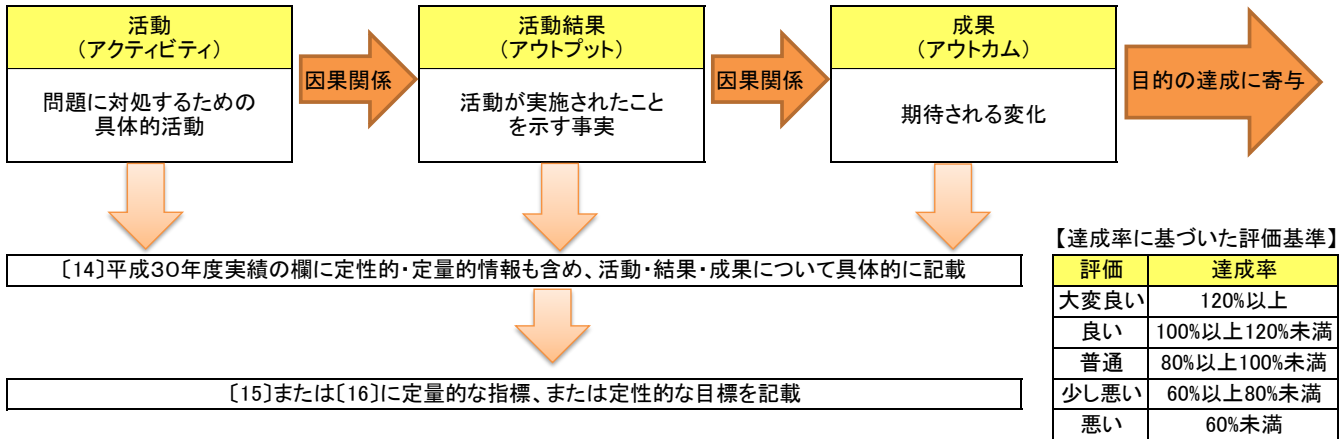
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	22,551	20,124	18,933	22,637	
11 主な事業費内訳	委託料	千円	17,420	14,709	13,722	16,229
	補助金	千円	1,868	1,818	1,807	3,377
	その他(需用費等)	千円	3,263	3,597	3,404	3,031
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他()	千円				
一般財源	千円	22,551	20,124	18,933	22,637	
12 人件費 (b)	千円	7,216	6,068	6,560	6,990	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	29,767	26,192	25,493	29,627	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	結核定期健康診断・予防啓発事業	シート番号	11-233
-------	-----------------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	<p>【予防啓発】 結核予防週間での街頭キャンペーンや庁舎内での展示をはじめとして、高齢者施設(サービス付き高齢者住宅・特別養護老人ホーム・訪問看護ステーション・有料老人ホーム・介護老人保健施設・障がい者支援施設等)やシルバー人材センター会員などへも結核の普及啓発と肺がん・結核検診の案内を行った。また平成30年4月27日厚労省通知「高齢者における結核発病者の早期発見対策について」に倣い、結核罹患率の高い高齢者を対象として啓発チラシを後期高齢者医療の健診案内に同封した。(発送は平成31年4月上旬)</p>							
	14	【肺がん・結核検診】 市内小学校や地域会館等で肺がん・結核検診を実施。平成30年度は年間99会場(延べ111回)で実施した。また受診者数向上への取り組みとして土日開催日を増設した。(前年対比2件増)また保健センターでのイベントとの同時実施や商業施設でも肺がん・結核検診を実施した。 受診者数については目標値及び前年実績値を下回った。						
		【定期健康診断実施報告書】 市内医療機関・福祉施設・学校等に対し、文書で二度にわたり定期健康診断実施報告書の提出勧奨を行ったほか、各種説明会や研修会等においても勧奨を行った。また申請方法に電子申請を取り入れ、記入例を刷新しホームページに掲載するなど提出率の向上に努めた。						
		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	15	肺がん・結核検診受診者数	人	目標値	7,500	7,500	6,500	6,000
				実績値	7,087	6,202	5,715	
				達成率	94%	83%	88%	
				評価	普通	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など	受診者数の実績					
		指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	16	定期健康診断実施報告書の提出数	件	目標値	1,300	1,300	1,300	1,300
				実績値	1,217	1,216	1,063	
				達成率	94%	94%	82%	
				評価	普通	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など	提出数の実績						

業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>高齢者を中心に結核の啓発、肺がん・結核検診の案内してきたが、受診者数は目標を達成できなかった。検診の実施会場が主に小学校や地域会館等と限られており、日程も決まっているため利便性が課題が残ると考えられる。また平成28年10月より市内医療機関で肺がん検診の無料個別受診が可能になり、受診者が分散したことが要因として考えられる。</p> <p>定期健康診断実施報告書については、平成31年6月にも30年度分実施報告書の提出について最終勧奨を文書にて発送する予定である。今後は文書による通知のほかに他部署や関係機関との連携をはかり勧奨の機会を増やすことを検討する。</p>
----	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。